

『大妻女子大学人間生活文化研究所年報』 電子版の発刊にあたって

当研究所は、設立以来 30 年の歴史を閲して参りましたが、2008 年に抜本的な機構改革を行い、教職員なら誰でもが自由に研究テーマを選んでプロジェクトを立ち上げることができるようにし、そのメンバー構成も学部学科の枠を超えて、誰でもが自由に参画できるようにいたしました。本年度は 45 プロジェクトが、一部は学外メンバーも加わって、それぞれ多彩な研究活動を活発に行っております。

従来は、その研究活動実績は「研究所年報」に取り纏めてご関係の皆様には毎年配賦させていただいておりましたが、この度、さらに広く世間の皆様にもその活動成果を知っていただけますよう、研究所ホームページ上でその詳細を公開させていただくことといたしました。忌憚のないご批判、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

今後は、国内外の研究機関との提携や、企業からの共同研究者の受け入れなど、活動領野をさらに広げていく所存でございますので、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお本研究所が、賛助会員企業各社から研究支援を頂戴し、なかでも大学院生が立ち上げたプロジェクト（本年度は 11 プロジェクト）を重点的にご支援いただいております点につきまして、この場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。

学校法人大妻学院
理事長 花村邦昭

30 年の歴史を有する人間生活文化研究所（2008 年名称変更）が、現在ほど本学全体の共有施設として認識され受け入れられた時代はなかったと思います。名実ともに、学部（短期大学部を含む）横断的・キャンパス横断的研究推進の場として機能し始めており、大澤清二研究所長をはじめとする皆様の努力に敬意を表します。今回、従来冊子体であった研究所年報が電子化され、世界中どこからでも自由に閲覧可能となると同時に、学術論文の掲載も企画されているとのことであり、学内外における重要な研究交流の場が新たに提供されることとなります。

学院創立 100 周年を期して、本学の教育理念の礎が「関係的自立」にあることが鮮明化されましたが、上記の横断的連携の推進等の一連の活動は、その具体化が本研究所で進行している証と言えましょう。二番手として期待されているのが、旧研究科を統合して 2010 年度に発足した大学院人間文化研究科となりますが、関係的自立に向けての道のりは、まだまだ険しいというのが実感です。千代田校舎の改築により院生室が一つにまとまり、相互交流の機会が飛躍的に増える日の到来が待たれます。もっとも遅れているのが学部レベルといえましょう。縦割りの専門性と言う大学の長い伝統的な壁の中で、専門性を生かしながら、それを多面的に眺めることができる人間性の豊かさ・相互コミュニケーションをいかに充実させることができるかが、今後の課題となります。その意味でも、本研究所が牽引車としての役割を果たして下さることを期待しています。

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部
学長代行 伊藤朋恭

大妻女子大学人間生活文化研究所は平成20年の大妻学院の創立100周年を機に（旧）人間生活科学研究所を改組してリスタートいたしました。旧研究所は主として大学院家政学研究科と連携し四半世紀に亘って、人間の生活にかかわる諸現象について研究教育活動を行い、数多くの優れた研究者を育成し、またユニークな研究実績を挙げてきました。新研究所はこの伝統を踏まえつつ、大妻女子大学の学部、短大そして千代田、多摩、狭山のキャンパスを結ぶ横断的な研究体制の中核となり、平成22年度に改組統合した大学院人間文化研究科を支援しております。

人間生活文化研究所では学内の多様な分野の研究者が個別科学の枠を超えて研究ネットワークを構成して、人間の生活に焦点を当てた現実的な「生活の学」の創成を目指しております。

従来は印刷媒体の年報を発刊してまいりましたが、今年度からは新たにインターネットを介したオンラインジャーナルとしてより迅速に、より豊富に、より広汎な方々に研究所の事業活動、研究業績をご紹介します。オンライン化に当たりましては従来の事業・研究報告に加えて、オンラインによる投稿/査読制度を通過した研究論文を掲載するほか、フィールド報告、大学院生の修士、博士論文なども掲載いたします。

本年度は特に元理事長、学長、研究所長の佐野博敏先生の特別寄稿「大学評価がもたらしたもの—その成果と期待—」のほかに、平成22年度大妻女子大学人間生活文化研究所がおこなった33件の「共同研究プロジェクト」の報告も収録しております。

さらに、このオンラインジャーナルでは「生活の学」に関する学外の方の研究成果も編集委員会の審議を経て積極的に掲載する計画です。

関係者の皆様には人間生活文化研究所への変わらぬご理解とご指導を賜りますようお願い致します。

平成23年6月

大妻女子大学人間生活文化研究所

所長 大澤清二